

U12 カテゴリーの登録および移籍の考え方について

■ミニバスの理念の継承

U12 カテゴリーでは、これまで、日本ミニバスケットボール連盟(以下、ミニ連)をはじめ、各都道府県ミニ連の関係者が中心となって、単一校・単一チームを基本とし、どの小学校でもミニバスケットボール(以下、ミニバス)ができるような環境整備を目指して、U12 世代のバスケットボールの普及に努めてまいりました。それに伴い、2018 年 12 月末時点で、男女合わせて約 9,000 弱のチームが JBA に加盟登録をして活動しております。

2018 年度からは「U12 カテゴリー部会/日本ミニ連」として、これまで日本ミニ連が推進してきた普及の理念を尊重しながら、引き続き U12 世代におけるバスケットボールの普及に取り組んでおります。

■現行規程の課題と変更内容

以下 2 点の主な事情を踏まえ、U12 カテゴリー部会では登録および移籍について検討を重ね、時代背景や環境に即した規程とするための改定案をまとめました。

1. 少子化の影響

【課題点】 単一校・単一チームや、近隣校で合体したチームでは選手を集めることが難しくなっている、等

【改定後】 一定の条件の下での登録の自由を容認し、希望するチームへの加入を可能とする。

※U12 カテゴリー登録運用細則を定める。

2. 移籍ができないことの問題

【課題点】 暴言・暴力・人間関係等のトラブルなどの問題があっても、移籍が制限されていたため、我慢して続けるかバスケットボールを辞めるかのどちらかしかなかった、等

【改定後】 特別な事情があれば、チーム間の移籍を認める。

※U12 カテゴリー移籍運用細則を定める。

注) 今回の変更は、特別な事情がある選手の移籍を認めるもので、この規程を悪用して強化目的や勝利至上主義のもとに移籍することを促すものではありません。

■U12 カテゴリーにおける登録・移籍に関する規程について(再確認)

今回の登録・移籍に関わる規程の変更は、決して、これまでの枠組みと活動を全面的に否定するものではありません。例えば、これまで小学校区単位で編成されていたチームは、これまで同様、小学校区単位で選手を募集して活動することができます。さらには、新たな枠組みの中で活動することも可能になります。

また、今回の登録・移籍に関わる規程の変更は、強化目的や勝利至上主義を促すものでもありません。例えば、大会での勝利を目指すために、他チームの有力な選手を自分のチームに移籍させて戦おうとするチームと、その指導者は、U12 世代に必要な競技の普及と選手の育成に取り組んでいるとは言えません。勝利を第一優先として強化に走るチームや指導者が増えてしまう場合には、勝利至上主義を助長するものとして全国やブロックの競技会の在り方について考えることや、改めて指導者に対する罰則規程の必要性も検討していかなければならないと考えます。